

2023

11月
新講座

遠藤周作の世界②

～同伴者の希求～



写真提供・京都新聞

《講 師》明治学院大学キリスト教研究所協力研究員 増田 斎

《受講日》第4月曜日13:00～14:30

※3月のみ第2週(3/11)

《受講料》5ヵ月(5回)分 15,400円(税込)

遠藤周作は今年で生誕100周年を迎えます。前期(2023年4～9月)では、遠藤がなぜキリシタンに関心を持ったのか、『沈黙』の道程を辿りました。今期は、『死海のほとり』を読み解くために、関連する作品等を参照しながら、遠藤文学で重要になる「同伴者」の存在を検討します。11月から始まる5ヵ月講座です。

2023年11月～2024年3月 カリキュラム

11月27日	「踏絵」と対峙した作家 『沈黙』に至る過程を辿り直し、遠藤文学を読む上で重要な点を概括的に示します。
12月25日	『死海のほとり』への道程 『死海のほとり』が創作された背景に迫ります。
1月22日	『死海のほとり』を読む① 裏切った弟子という私 小説『死海のほとり』の〈巡礼〉に登場する小説家「私」の経験を中心に読み解きます。
2月26日	『死海のほとり』を読む② イエスの探求 小説『死海のほとり』の〈巡礼〉に登場する作中人物がイエスを探求する意味について読み解きます。
3月11日	遠藤周作のイエス像 遠藤周作が描いたイエス像について考えます。

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ※受講料には維持管理費が含まれています。
- ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
- ※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
- ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
- ※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ
初めてご入会される方は、
別途登録料550円(税込)が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

☎0120-53-8164

10:00～19:00(日曜日は17:00まで)